

石津保育園 保育研修会

<保育者> 3・4・5歳異年齢児保育 ばなな組担任

令和3年10月21日(木)

中山 優佳保育士
宇田川 敦子保育士

<研修テーマ> 夢中になって遊ぶための環境と援助

<ねらい> (戸外)・友達と一緒に好きな遊びを見つけたり、簡単なルールの遊びに興味を持ったりして遊ぶ。
(室内)・廃材や自然物を使って製作したり、作ったもので遊んだりすることを楽しむ。

活動のひとこま ～きょうだいみたいに仲良し～



日々の生活を異年齢で過ごしているばなな組の子どもたちは、遊びもいろいろな学年の色の帽子が自然に混ざり合って遊んでいます。今の子どもたちのブームは、けいどろ。

警察と泥棒に分かれて元気いっぱい園庭を走り回っていました。保育士も遊び仲間になって走ったり、時には子ども同士のトラブルを子どもたちと一緒に解決したりしながら遊びを盛り上げていきます。

園庭は、けいどろの他にもブランコや虫探しなど

自分の好きな遊びを見つけ楽しむ姿がありました。

せんせいも
捕まえちゃうぞ～

もう1回
やって～



せんせいもいっしょ
ともだちもいっしょが楽しい!

室内では、子どもたちの好きな遊び、安心できる遊びの環境が充実しています。ビー玉転がしをして遊んでいるのは、5歳児の男の子と3歳児の男の子。まるで兄弟のように仲良く、長い時間一緒に遊んでいました。

異年齢で過ごす中で、大きい子は自分より小さい子を思いやる気持ちが育ち、小さい子は大きい子の姿に憧れて「ぼくも」「わたしも」と成長する姿が見られます。



いくよ～
見ててよ～

事後研修会 (講師: 県立大学短期大学部教授) 永倉 みゆき氏)

- ・子ども集団を森に例えると、外から見て元気いっぱいそうに見える森でも、森の中に踏み込んで見ると、どうなのか。一本一本の木をじっくり見ることが大切である。
- ・子ども同士のトラブルは、保育者も一緒になって「困ったねえ。どうしたらいいんだろう。」と考え、子どもの考えを引き出したい。
- ・異年齢保育のよさと異年齢保育だからこそ出てくる課題に向き合い、考えていくことも今後必要なのは。
- ・子どもの「さもない」動きに目を止め、子どもの意外な発想を面白がる保育士であってほしい。

～子どもの様子を映像で解説しながら、保育士の気づかない面からお話していただきました～



事後研修会では、私立保育園の主任保育士の方が3名も参加して下さり充実した協議が行われました。